

令和2年度上大久保中学校だより

上中だより

第10号

令和3年1月7日(木)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j.saitama-city.ed.jp>

「3学期が始まるにあたって」

校長 堀田 明良

新年あけましておめでとうございます。生徒、保護者、地域の皆様、コロナ禍の中でいつもと違う新年を迎えたとはいえ、今年が良い年にしたいという願いはすべての人々の共通のものだと思います。昨年は本校の教育活動に対しまして様々な形で大変お世話になりました。今後も「温かい学校 感動あふれる学校」を目指し、教育活動を進めてまいりたいと考えておりますので、昨年にもましてご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

生徒の皆さん、今日からとても短い3学期が始まります。2学期の終業式では、

- ・ 2学期を振り返り、3学期をどう過ごすか、考えておいてほしい。
- ・ 冬休みには健康と安全に気を付け、家の手伝いを進んで取り組んでほしい。
- ・ 3年生は進路決定に向け、最後のまとめをしっかりと行ってほしい。

という話をしました。さて、皆さんはどうでしたか。2学期の成果と課題を振り返り、新年の目標を立てられましたか。「反省なくして、向上なし」です。まだ目指すものが無い人は早めにつくってください。「目標」「志」は人を動かすエネルギーとなります。明治維新で江戸城の無血開城を実現させた勝海舟はまだ若い頃、「これからは広く知識を海外に求めるべきだ。」と考え、蘭学（オランダの学問）を学ぶことを志しました。ある時、本屋で全58巻の「日蘭辞典（オランダ語の辞書）」が売りに出されているのを目にしました。オランダ語を学ぶためにはどうしても欲しい本であったのですが、若い海舟には買うだけのお金がありません。ついに本は売れてしまったのですが、海舟はあきらめきれず、本を買った医者を訪れ、「1巻だけでも貸してほしい。」と頼みました。医者は海舟の熱意に負け、しぶしぶ貸すことにしました。海舟は喜び勇んで家に持ち帰り、寝食を忘れ書き写しました。1巻書き写すとまた借りてと繰り返し、1年半で2部の写本ができました。1部は自分の手元に置き、もう1部は売りに出したところ、とても高い値段で売れました。そのお金で海舟は医者に借用料を支払い、残りを生活費に充てたそうです。そして書き写すことによって海舟には蘭学の知識が身に付いたのです。

3学期は1年間のまとめの学期であり、次の学年に上がる準備の学期です。3年生は自分の進路を決定する時です。自分の目標に向かい、自分をコントロールして仲間を支え合い、努力する者が「本物の受験生」だと思います。入試等に向け、準備をしっかり行い、学力だけでなく、心も体も充実した状態で臨めるように努めましょう。2年生は4月から最上級生となります。一日一日を大切に過ごし、2年生でやり残したことの無いようにしてほしいと思います。1年生は4月からは良き上級生となるよう過ごしてほしいと思います。とても短い3学期です。すぐに取りかからないといけません。